

**（仮称）松戸市リサイクルプラザ整備事業**

**落札者決定基準書**

**平成 31 年 4 月 8 日**

**松 戸 市**

## < 目 次 >

1.	落札者決定基準書の位置付け .....	1
2.	落札者決定の手順 .....	1
	（1） 入札参加資格審査 .....	1
	（2） 技術提案審査 .....	1
	（3） 落札者の決定 .....	2
3.	技術提案審査の方法 .....	3
	（1） 基礎審査 .....	3
	（2） 非価格要素審査 .....	3
	（3） 価格要素審査 .....	6
	（4） 総合評価 .....	6

## 1. 落札者決定基準書の位置付け

松戸市（以下「市」という。）が進める「（仮称）松戸市リサイクルプラザ整備事業」（以下「本事業」という。）において、実施する事業者は、施設の整備及び維持管理に関する専門的な知識及びノウハウ等が求められる。このため、市では、落札者の決定に当たっては、価格以外の要素（施設の性能及び機能等）及び価格によって落札者を決定する制限付き一般競争入札方式の総合評価方式を採用する。

落札者決定基準書は、総合評価方式により落札者の選定に際し、要求水準書等の内容について、応募者から提出された技術提案書を可能な限り客観的に評価する基準として示すものである。

## 2. 落札者決定の手順

### （1）入札参加資格審査

市及び事業者選考委員会では、応募者から提出された入札参加資格審査に関する提出書類を基に、入札説明書の「入札参加資格要件」に示した事項を満たしているかどうかの確認を行う。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格要件を満たしていることが確認された応募者のみ、次段階の技術審査に参加できるものとし、入札参加資格要件を満たしていない応募者は失格とする。なお、入札参加資格審査の結果については、全応募者に通知する。

### （2）技術提案審査

#### ① 基礎審査

市及び事業者選考委員会では、技術提案書に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。

基礎審査の結果、当該要件を全て満たしていることを確認した応募者のみ、次段階の非価格要素審査及び価格要素審査に進むことができるものとする。

#### ② 非価格要素審査

事業者選考委員会では、応募者から提出された技術提案書を評価して得点化する。なお、非価格要素審査に当たっては、応募者へのヒアリングを実施する。

#### ③ 価格要素審査

事業者選考委員会では、入札価格を得点化する。

#### ④ 総合評価

事業者選考委員会では、非価格要素審査及び価格要素審査の得点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い応募者を落札者に選定する。

### (3) 落札者の決定

市では、事業者選考委員会における総合評価の結果に基づき、落札者を決定する。

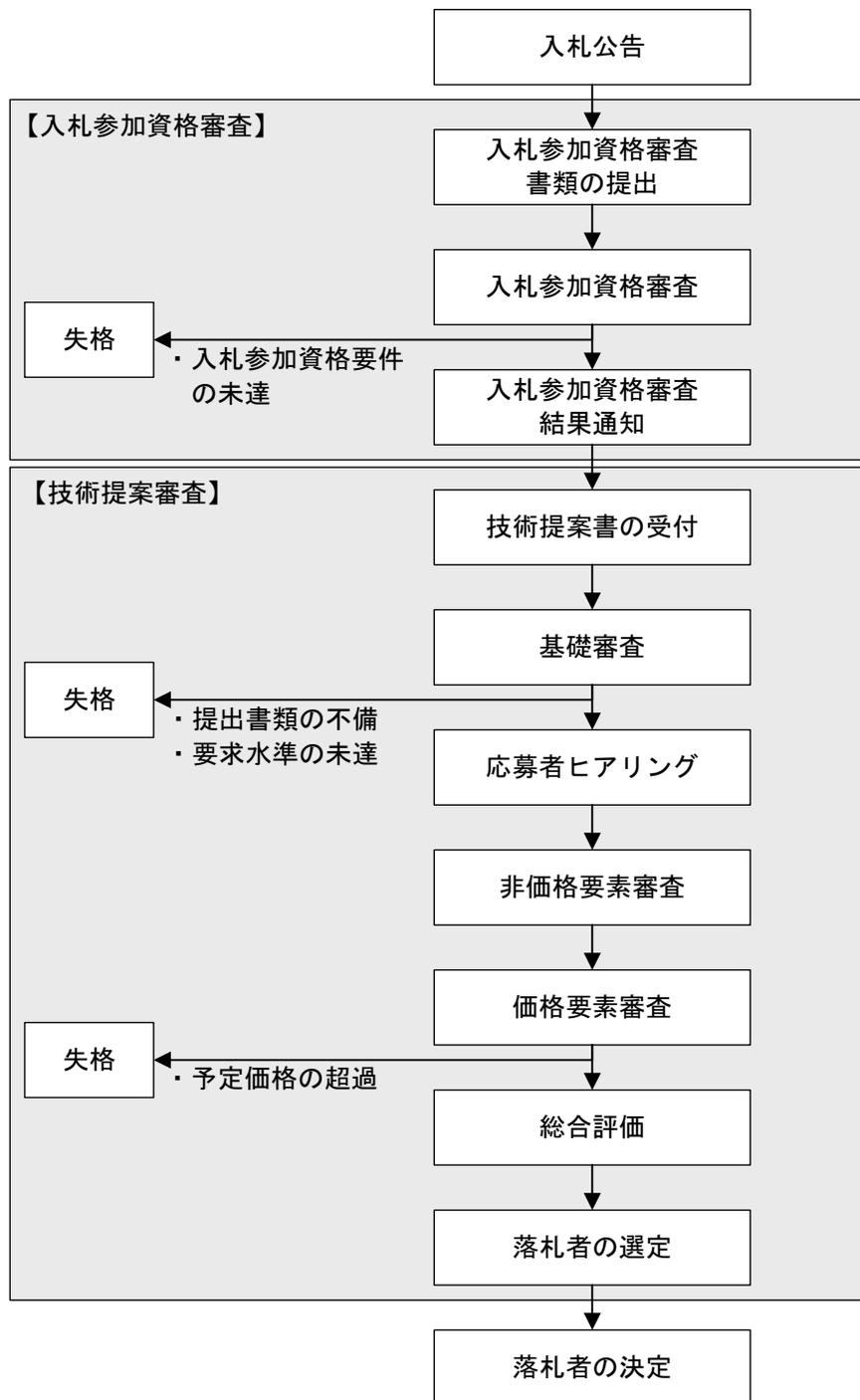


図1 落札者決定までの流れ

### 3. 技術提案審査の方法

#### (1) 基礎審査

市及び事業者選考委員会では、応募者から提出を受けた技術提案書について、次に示す項目を審査する。なお、要求水準書に規定する性能要件を満足していない場合は、その応募者は失格とする。

##### ① 提出書類の整合確認

- ア) 必要な書類がそろっているか
- イ) 書類間の整合が図られているか

##### ② 技術提案書と要求水準との整合確認

- ア) 提案内容が要求水準を満たしているか（ただし、入札説明書等や質問回答書の内容も考慮した上で判断する。）

#### (2) 非価格要素審査

##### ① 審査項目及び配点

非価格要素審査の合計点は、60点とする。

事業者選考委員会では、技術提案書における提案内容を表1から表3に示す基準で評価し、点数化する。なお、審査に当たり、提案内容について応募者にプレゼンテーションを求めるとともに、ヒアリングを実施する。

表1 審査項目及び配点 (1/3)

評価項目		評価基準	配点	
企業力	① 同種施設 <sup>(※1)</sup> の施工実績 (処理能力5t/5h以上)	・過去10年間(H21.4以降から本事業の公告日までに稼働開始した施設)の公共工事における同種施設の施工実績の件数を定量評価する。(A:5件以上、B:4件、C:3件、D:2件、E:1件)	5	15
	② 同種施設 <sup>(※1)</sup> の維持管理実績 (処理能力5t/5h以上)	・過去10年間(H21.4以降から本事業の公告日までに稼働開始した施設)の公共工事における同種施設に対するDBO方式又はDBM方式の件数を定量評価する。(A:5件以上、B:4件、C:3件、D:2件、E:1件)	5	
	③ 監理技術者の同種施設 <sup>(※1)</sup> の施工実績 (処理能力5t/5h以上)	・監理技術者としての過去10年間(H21.4以降から本事業の公告日までに稼働開始した施設)の公共工事における同種施設の施工実績の件数を定量評価する。(A:2件以上、C:1件、E:0件)	5	

表 2 審査項目及び配点 (2/3)

評価項目			評価基準	配点	
事業計画	リスク管理	④	DBM方式のリスクへの対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求水準書「第3章第3節2.点検及び検査の実施」に示す運転委託業者等から受ける運転管理の報告（日報、月報、年報）についての確認方法及び市への助言、並びに確認等の頻度や事業者の取組が、具体的かつ実効性があり、市等及び維持管理事業者の双方にとってリスク低減につながる具体的な提案がなされているか。</li> <li>・計画よりも設備等の更新時期が早まった場合や原因不明の故障が発生した場合における早期復旧に対する対応策について具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	10
	運転費	⑤	運転費の低減への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年間の運転に伴う運転人員を削減することを目的とした、ハード及びソフトに対する具体的な設計の提案がなされているか。</li> </ul>	5
	地元貢献	⑥	地元企業の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・建設業務において、地元企業を活用するなどの提案がなされているか。</li> <li>・維持管理業務において、地元企業を活用するなどの提案がなされているか。</li> </ul>	5
設計・建設業務に関する事項	本施設の運用に対する安全・安定性	⑦	施設配置及び車両動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各車両（収集車、一般持込車両、搬出車両、一般車両（見学等））に配慮した極力錯綜しない車両動線、施設外に車両が待機することがないように待機場所を考慮した施設配置など、安全に配慮した具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
		⑧	施設内作業動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業性、安全性、点検スペース確保等のメンテナンス性を考慮した機器配置に対する提案がなされているか。</li> </ul>	5
	施設に対する安全・安定性	⑨	処理システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求水準書添付資料に示す「フローシート（参考）」を基本とし、機器点数の削減など、設計・建設費及び維持管理費の削減を目指した設計となっているか。</li> </ul>	10
		⑩	災害対策（水害）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川氾濫等の水害に対する安全性が高い浸水対策（建屋含む）に関する具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
	環境性	⑪	周辺環境対策（工事中）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間中、周辺環境に対する騒音・振動・粉じん等に配慮した定点観測や掘削時における排水処理等についての具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
		⑫	周辺環境対策（維持管理中）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理期間中、施設内の車両を含めた騒音・振動等について、周辺環境を考慮した具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
		⑬	周囲の景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求水準書「第2章第1節1.(1)14」に示す緑豊かな田園風景や周辺環境に調和した景観について、維持管理費用に配慮した自然素材や植栽等を活用するなど、具体的な提案がなされているか。</li> </ul>	5
	環境学習・啓発	⑭	見学者への環境学習・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者の年齢層（小学生・大人等）に合わせたリサイクルを理解しやすい見学ルート（各見学場面における説明方法や見学窓の配置など）の確保や、維持管理費用に対する配慮（展示内容の更新が容易など）が、具体的に提案されているか。</li> <li>・来客者への再生家具の引き渡しや、事業者による再生家具の運搬方法等、再生販売事業に配慮した再生家具室の配置が提案されているか。</li> </ul>	5

表 3 審査項目及び配点 (3/3)

評価項目			評価基準	配点		
維持管理 業務に関 する事項	安全・安定 性	⑮	施設保全の計画	・本施設の長期稼働を目的に、効率的な設備更新やストックマネジメントの考え方に基づいた本施設の長寿命化対策を具体的に盛り込んだ施設保全に関する考え方や計画が提案されているか。	10	20
		⑯	火災・爆発等事故対策	・本施設の安全対策に関する考え方及び対策について、設計での反映及び火災・爆発等の事故発生時の対処（緊急連絡体制の確立、緊急時対応及び復旧に向けた対策）として、事業者の実績等をもとに具体的かつ確実性の高い提案がなされているか。	5	
		⑰	災害対応	・防災注意報や警報等の発令時における緊急連絡体制及び対応方法、発災時の初期対応について、具体的な提案がなされているか。	5	
				100		

注) 1. ※1：同種施設とは、不燃ごみや不燃性粗大ごみを処理するため、破砕機を設置している施設を指す。  
2. ③は3段階評価とする。

② 評価基準及び得点化方法

審査項目における評価基準及び得点化方法は、表 4 に示すとおりである。

表 4 評価基準及び得点化方法

評価	評価内容	点数化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる	配点×1.00
B	AとCの間であり、提案内容に大きな期待ができる	配点×0.75
C	優れており、提案内容に期待ができる	配点×0.50
D	CとEの間であり、提案内容にあまり期待ができない	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度であり、提案内容に期待できない	配点×0.00

③ 非価格要素点の算出方法

非価格要素点は、次の方法で算出する。

$$\text{非価格要素点} = 60 \text{ 点} \times (\text{審査項目ごとの評価点の合計点} / 100)$$

注) 点数は、配点が示される評価項目ごとに小数点第 3 位を四捨五入し、小数点 2 位まで算出するものとする。

### (3) 価格要素審査

価格要素点は、40点満点とし、次の方法で算出する。

市では、今後20年以上にわたるごみ処理の安定処理が求められることから、設計・建設業務においては、「松戸市低入札価格調査実施要綱（平成31年4月1日改正）」に示す調査基準価格を設定する。

価格要素審査は、上述する設計・建設工事費及び維持管理業務委託費を合計した価格で、次に示す式により算出する。

$$\text{価格要素点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

- ・入札価格：応募者から提出された入札価格のうち入札書比較価格に相当する価格。
- ・最低入札価格：応募者による最低の入札価格。

注) 1. 点数は、配点が示される評価項目ごとに小数点第3位を四捨五入し、小数点2位まで算出するものとする。

注) 2. 設計・建設工事費及び維持管理業務委託費のそれぞれについて、予定価格を上回った応募者は、失格とする。

### (4) 総合評価

総合評価点は、非価格要素点及び価格要素点の合計で算出し、総合評価点の最も高い応募者を落札者に選定する。

総合評価点の最も高い応募者が複数ある場合、非価格要素点に違いがある場合は、非価格要素点が高い応募者を落札者に選定するが、非価格要素点に違いがない場合は、当該応募者にくじを引かせて選定する。なお、当該応募者が不在の場合は、当該入札事務に関係がない市職員がくじを引き、順位を決定する。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素点} + \text{価格要素点}$$

— 以上 —